

教えて!

富山 けいざい



RPAって?

◆事務処理作業を自動化／働き方改革で注目

単純作業を楽にする方法を探していたブン子さん。北陸経済研究所（富山市）の倉嶋英二総括研究員に相談しました。

Q－最近、よく聞くRPA（アール・ピー・エー）ってなあに。

A－ロボティック・プロセス・オートメーションの頭文字を取ったもので、主にオフィスでの事務処理作業をコンピュータ上で自動的に行ってくれるソフトウェアです。県内企業も開発しています。

Q－どんなことをするの。

A－例えば注文を受けたデータを、作業指示や在庫管理のシステムに入れ直したり、入社・退社を管理するデータを給与計算のシステムに入れて残業代を計算したり、さらには入力データをチェックし実績表を作成したりします。

これまで人が行ってきた社内システム間のデータ移動や変換処理を自動で行います。総務省によると、帳簿入力や伝票作成、ダイレクトメールの発送作業、経費チェック、顧客データの管理、基幹業務システムへのデータ入力、インターネットからの定期的な情報収集など、定型的、繰り返し型の業務に適しています。

Q－なぜ注目されているの。

A－人手不足が深刻化し、働き方改革が求められる中、企業が生産性を高めるには事務部門の効率化は避けて通れません。大掛かりなシステム開発がならず、開発時間やコストが節約できることも普及を後押ししている要因です。

Q－どんなところで使われているの。

A－金融機関などが早くから導入しました。今では業種を問わず多くの企業を取り入れ、大手企業の8割が導入に着手したという報告もあります。南砺市では4月から会計や収納などの業務で本格稼働させたほか、県が電子入札、住民票・印鑑証明交付システム、入力・集計業務の分野で市町村と共同での導入を検討する方針を示すなど、行政分野でも動きが見られます。

